

Starter Pack DVDからのファームウェアアップデート手順

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書では、Starter Packからのファームウェアアップデートに関して補足いたします。本バージョンの Starter Packにおいて、OS上ではなく、Starter Pack DVDから直接ファームウェアおよびシステムROMをアップデートする場合、次の手順に従ってください。

1. 事前準備

- (1) セキュアブート設定が有効になっているときは、いったん無効にします。

システムユーティリティから、「System Configuration」-
「BIOS/Platform Configuration (RBSU)」-「Server Security」-
「Secure Boot Settings」-「Attempt Secure Boot」
を [Disabled] にします。
詳細は、「メンテナンスガイド(共通編)」を参照してください。

- (2) Trusted Platform Module(TPM)を搭載している場合、システムユーティリティ
から、「System Configuration」-「BIOS/Platform Configuration(RBSU)」-
「Server Security」-「Trusted Platform Module Options」-「TPM Visibility」
を[Hidden]にします。

※「TPM Visibility」がグレースアウトしている場合は、
「Platform Certificate Support」(*1)を[Disabled]にしてください。

(*1)本設定は、モデルによって表示箇所が異なります。「メンテナンスガイド
(共通編)」を参照ください。

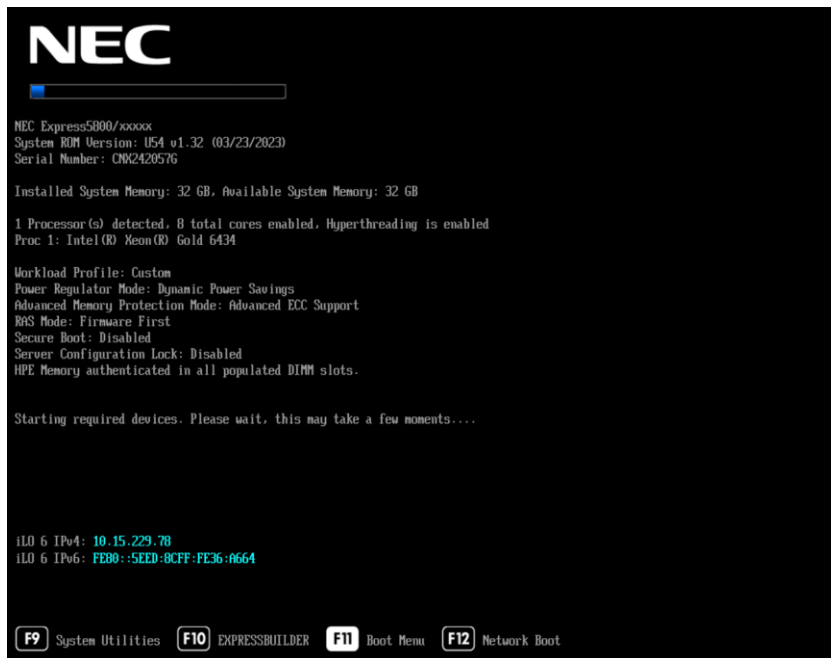
- (3) Windows(R) BitLocker(TM)機能を有効にしている場合、一旦無効にしてから本手順を
実行してください。アップデートが完了した後、再度有効にしてください。
無効にせずアップデートした場合、装置の起動時に「回復パスワード」が必要になることがあります。

- (4) iLOでSNMPv3アラート機能を使用している場合、iLOのWebインターフェースにログ
インし、SNMPv3アラート機能の設定値をメモ等に記録しておきます。

2. ファームウェアアップデート

- (1) 対象サーバーにStarter Pack DVDをセットし、電源をOFF、ONするか、または
<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーで再起動します。

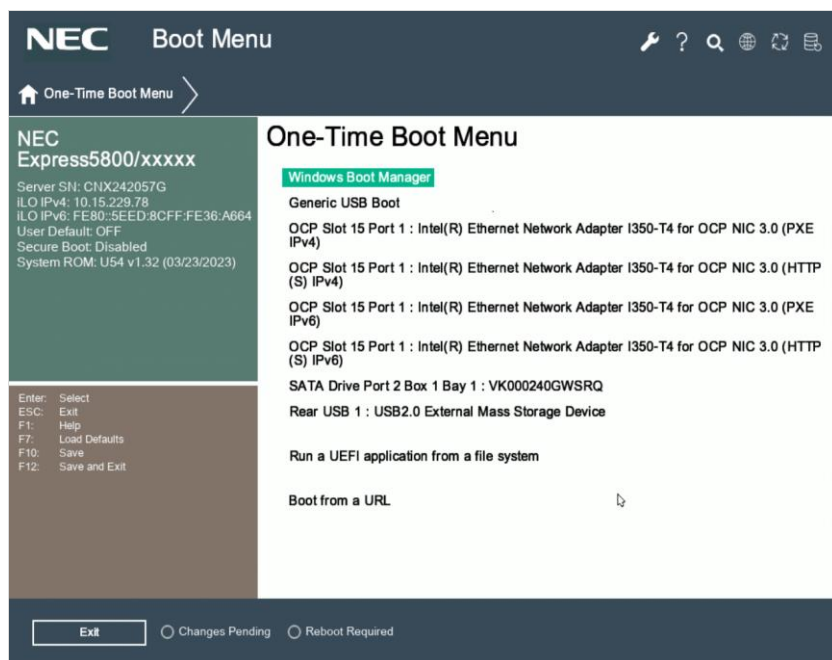
次のように、POSTが始まります。



(2) POST実行中に<F11>キーを押します。

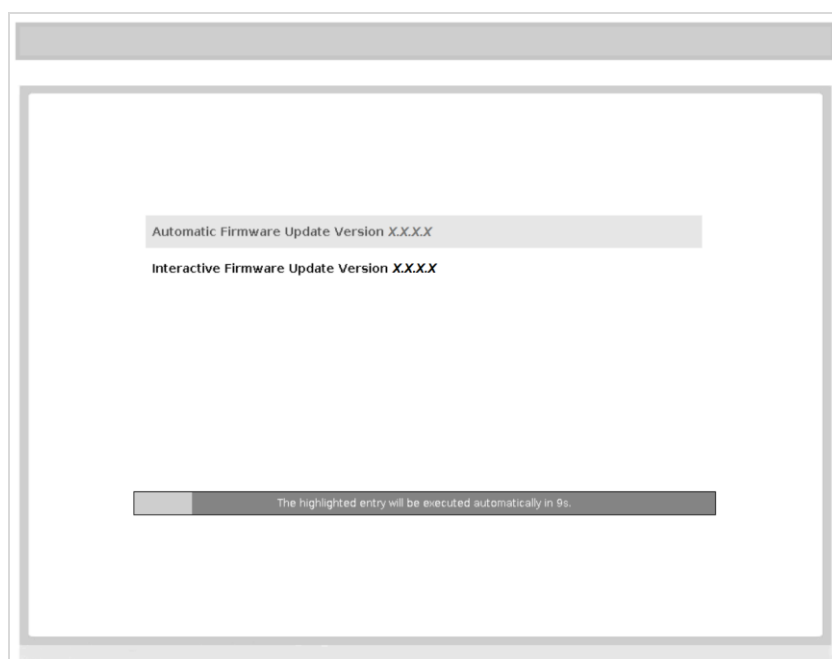
次のように、Boot Menuが表示されます。

(環境によって表示が変わります)



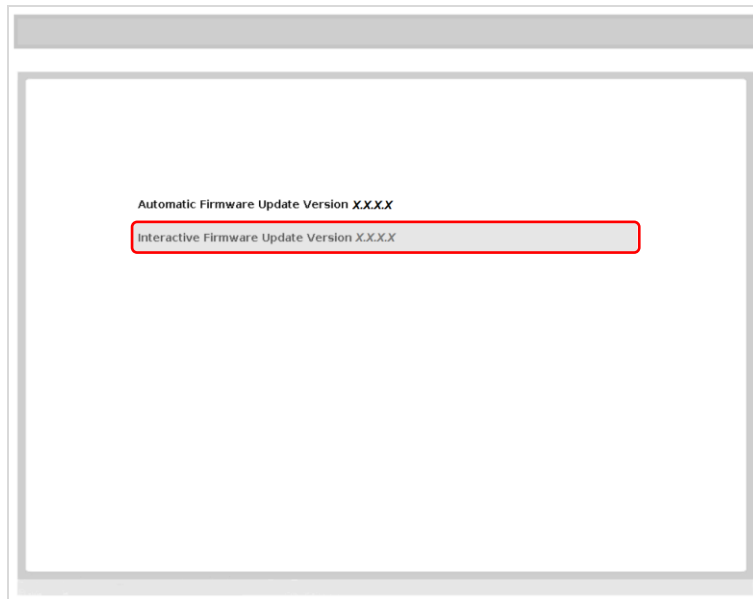
(3) One-Time Boot Menuから(2)でセットしたDVDドライブを選択すると、

Starter Pack DVDが起動し、次の画面が表示されます。

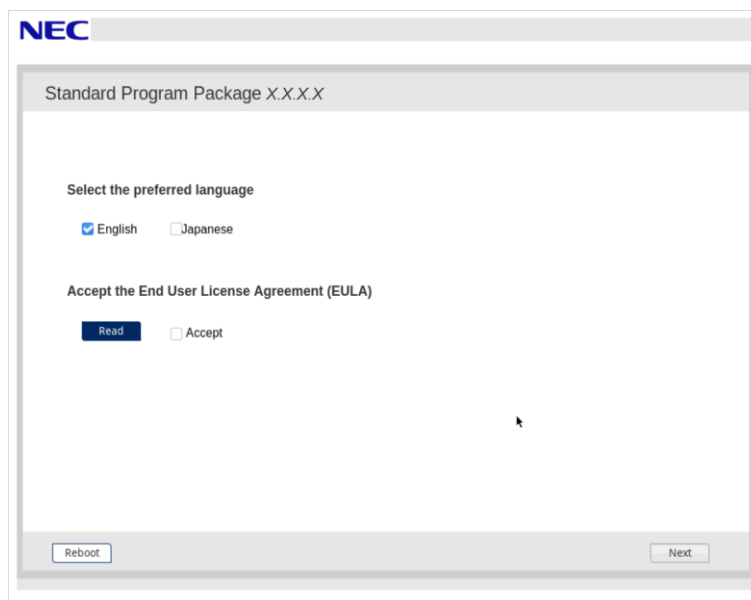


(4) メニューの「Interactive Firmware Update」をカーソルキーで選択してから<Enter>キーを押します。

- 10秒以内に選択操作をしない場合、一定時間経過後に「Automatic Firmware Update」が選択され、自動的にアップデートが実行されますので、ご注意ください。

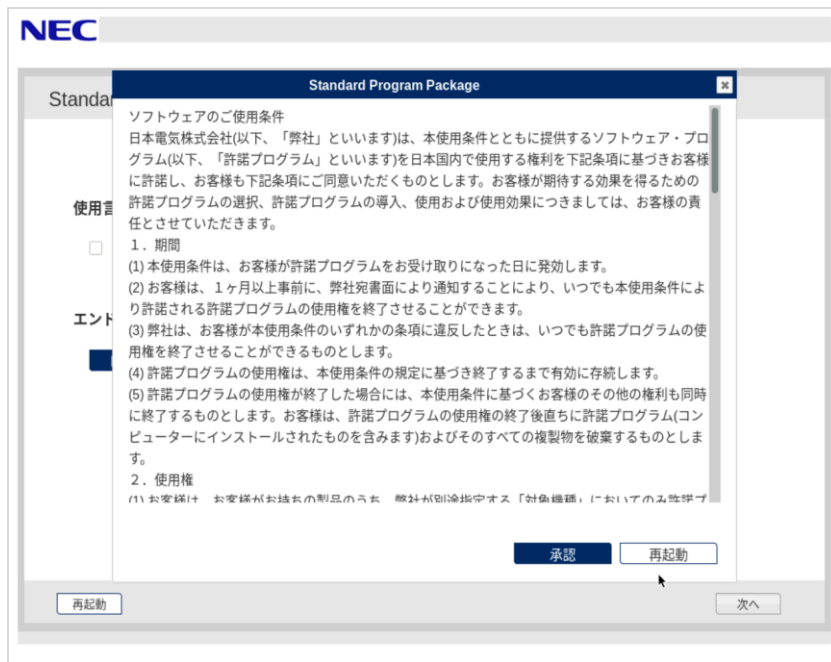


次の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

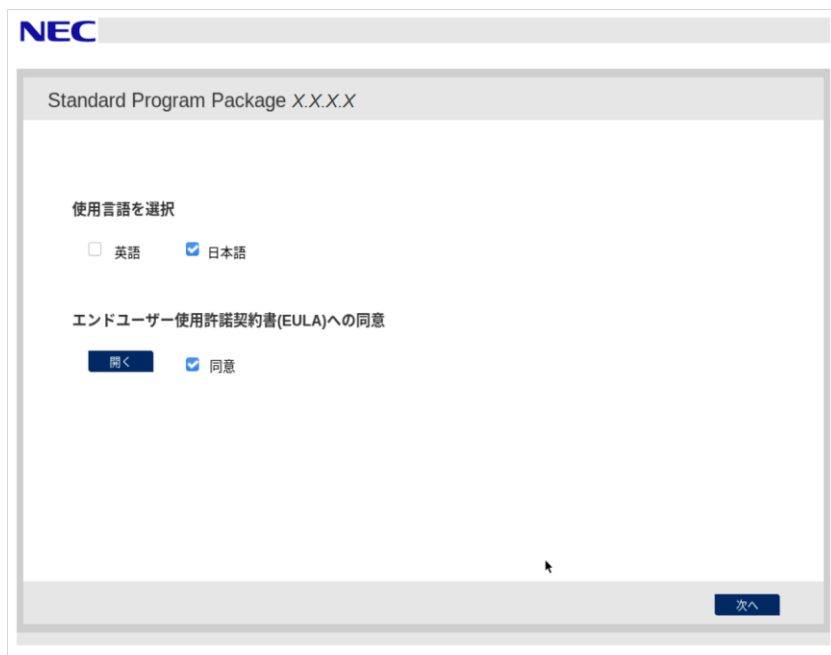


(5) 「Select the preferred language」で「Japanese」を選択します。

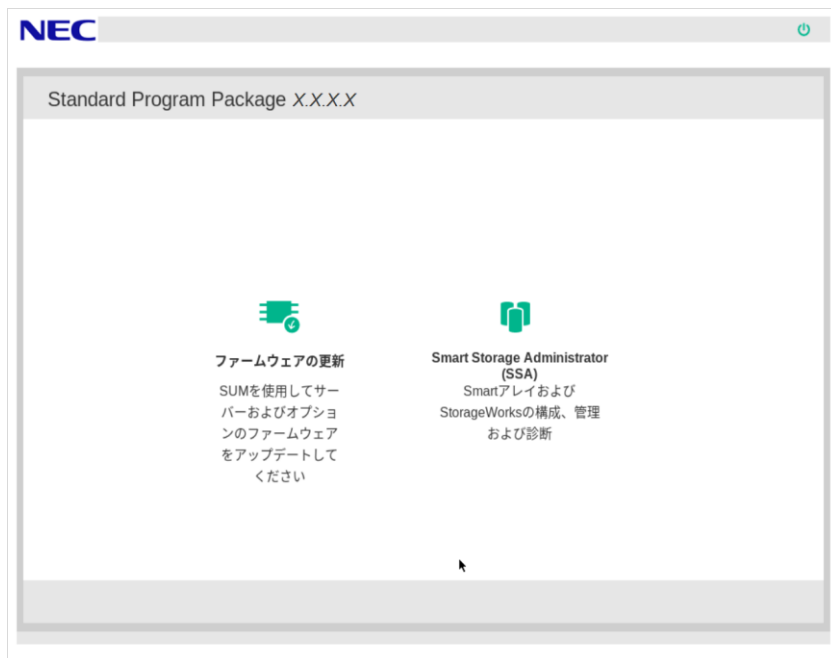
(6) 「エンドユーザー使用許諾契約書(EULA)への同意」で「開く」をクリックし、内容を確認して「承認」をクリックします。



(7) 画面右下の「次へ」をクリックします。



(8)「ファームウェアの更新」を選択します。



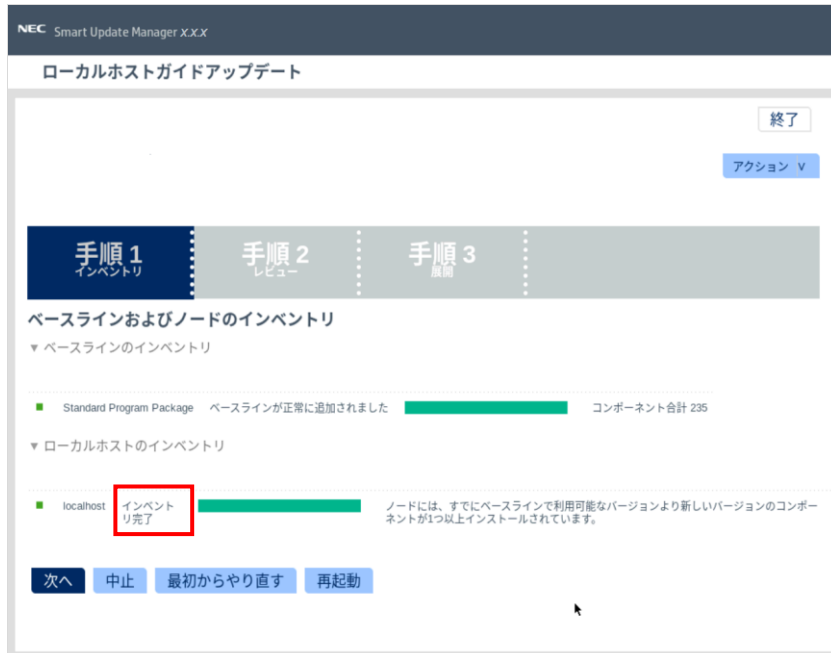
起動時にエラーが起きた場合、「トラブルシューティング」を参照して先に進めてください。

「ローカルホストガイドアップデート」の選択画面が表示された場合は、「ベースラインまたはインストールセット」が選択されていることを確認し、そのまま「OK」を選択します。（ここではiLOインストールキューを選択しないでください。）



「ローカルホストガイドアップデート」画面が表示され、「手順 1 インベントリ」が始まります。

以下の「インベントリ完了」が表示されるまで、しばらくお待ちください。



画面左下の「次へ」をクリックします。

(9)「手順2 レビュー」が表示されます。



次のように、ファームウェアの一覧が表示されます。

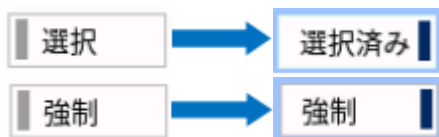
(環境によって表示されるファームウェアが異なります)



左のバーが青いファームウェアは、手順(12)でインストールを試みます。

(10) ファームウェア一覧から「Online ROM Flash Component for Linux - iLO 6」を探し、「コンポーネントを選択」の状態を確認します。

「選択済み」でない場合は、左側の「選択」または「強制（灰色）」をクリックし、「選択済み」または「強制（青色）」に変更してください。



同様にファームウェア一覧から「Language Pack - Japanese」を探し、「コンポーネントを選択」の状態を確認します。

「選択済み」でない場合は、左側の「選択」または「強制（灰色）」をクリックし、「選択済み」または「強制（青色）」に変更してください。

※ 「ダウングレード手順書」等に従い、ファームウェアをダウングレードするときは、同様に、手動で「選択済み」または「強制」に設定してください。

(11) ウィンドウ下部の「展開」をクリックすると「手順3 展開」が始まります。

以下の「展開が完了しました」が表示されるまで、しばらくお待ちください。

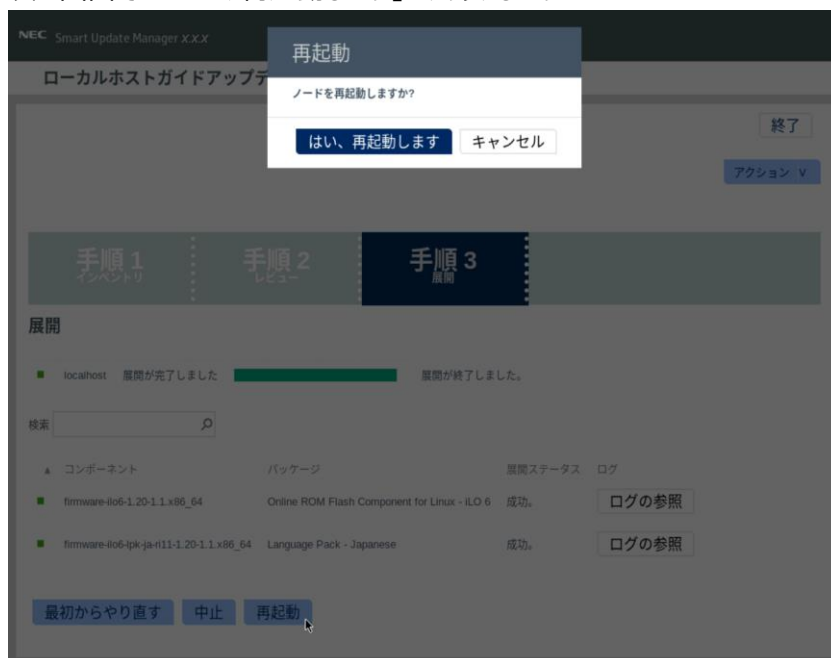


(12) ファームウェアのアップデートに成功したことを確認します。次のように、コンポーネント名の左側に表示されるステータスアイコンが緑色であることを確認してください。



(13) Starter Pack DVDをDVDドライブから取り出し、画面左下の「再起動」をクリックします。

次の画面では「はい、再起動します」をクリックします。



(14) 再起動して、POST(Powe on Self Test)が終了した後、システムROMが最新バージョンに更新されている場合は、(15)～(20)の手順は不要です。(21)へ進んでください。

最新バージョンの確認は、Starter Packを公開しているWebページの「リリースノート」-「システムROM関連」にある対象装置のリリースノートを参照ください。

装置のシステムROMバージョンは、以下の手順で確認してください。

(i). iLOのWebインターフェースにログインします。

(ii). 「情報」-「概要」-「サーバー」の[システムROM]の項目を確認します。

または、

(i). System Utilities を起動します。

(ii). System Information > Summary > System ROMの項目を確認します。

- (15) ご使用の装置が、Express5800/R110m-1 の場合は、
(24) Smart Update Manager(SUM)を利用しないアップデート手順
に進んでください。

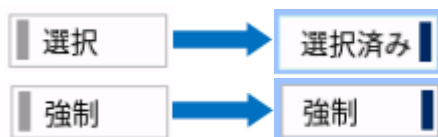
その他の装置の場合は、(16)以降を継続してください。

- (16) 再度、手順(1) ～ (9) を実施して「手順 2 レビュー」の画面に進みます。



- (17) ファームウェア一覧から「ROM Flash Firmware Package - System ROM Uxx」を探し、
「コンポーネントを選択」の状態を確認します。

「選択済み」でない場合は、左側の「選択」または「強制（灰色）」をクリックし、「選択済み」または「強制（青色）」に変更してください。



この手順において、「ROM Flash Firmware Package - System ROM Uxx」以外のファームウェアの選択状態は変更しないようにしてください。

- ※ 「ダウングレード手順書」等に従い、ファームウェアをダウングレードするときは、同様に、
手動で「選択済み」または「強制」に設定してください。

(18) ウィンドウ下部の「展開」をクリックすると「手順3 展開」が始まります。

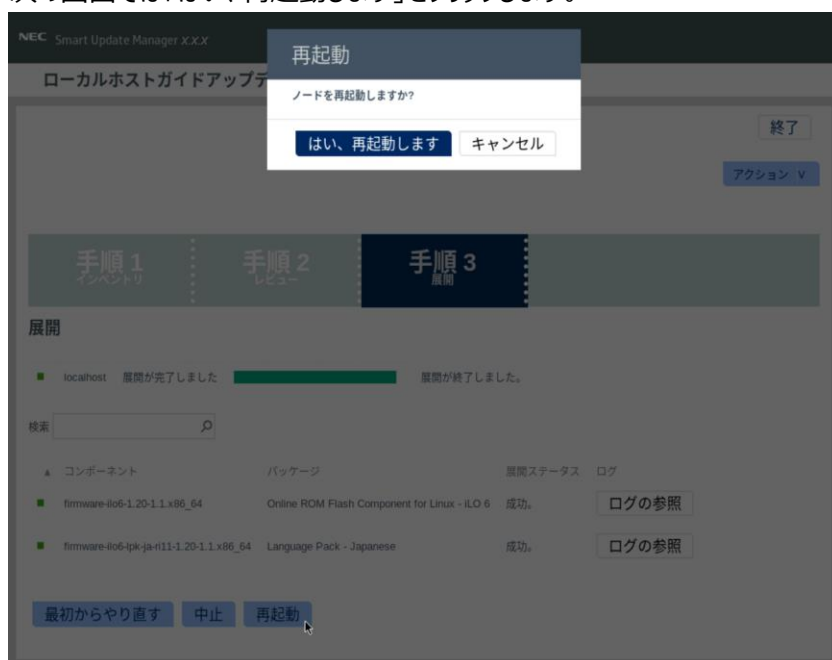
以下の「展開が完了しました」が表示されるまで、しばらくお待ちください。



(19) ファームウェアのアップデートに成功したことを確認します。次のように、コンポーネント名の左側に表示されるステータスアイコンが緑色であることを確認してください。



- (20) Starter Pack DVDをDVDドライブから取り出し、画面左下の「再起動」をクリックします。
次の画面では「はい、再起動します」をクリックします。



- (21) 「1. 事前準備」(1)でセキュアブート設定を無効にした場合、同様の手順で有効へ戻します。
(22) 「1. 事前準備」(2)でTPM を無効にした場合、同様の手順で有効へ戻します。
(23) 「1. 事前準備」(3)でBitLocker(TM)機能を無効にした場合、同様の手順で有効へ戻します。

以上で、ファームウェアアップデートは完了です。

内蔵DVD-ROM ドライブ[N8151-137], 内蔵DVD-Super MULTIドライブ[N8151-138]を使用時、アップデート後、Starter Pack DVDがDVDドライブから取り出せない場合があります。このとき、トラブルシューティングの「1. Starter Pack DVDがDVDドライブから取り出せなくなった場合」を参照してDVDを取り出してください。

(24) Smart Update Manager(SUM)を利用しないアップデート手順

システムROMのアップデートに必要なファイルは、

Starter Pack Version S8.10-013.01内の下記フォルダに格納されています。

➤ ¥software¥013¥firmware¥u65rom

アップデート環境により手順が異なりますので、Starter Packを公開しているWebページの「リリースノート」-「システムROM関連」からリンクしている R110m-1 のリリースノートを開き、「システムROMアップデート手順」の該当する手順を参照してシステムROMをアップデートしてください。

アップデート環境	Linux OS	Offline(VMWareなどの場合)
参照手順	《Linux(R) OSの場合》	《システムユーティリティの場合》 または、 《iL0 Web ユーザインターフェースの場合》
コンポーネント名/ アップデートファイル名	firmware-system-oem-u65 -1.50_2024_05_16-1.1.x86_64.rpm	U65_1.50_05_16_2024.signed.flash

(25) アップデートが完了したら(21)へ進んでください。

3. タイムゾーンの設定

(1) 本ファームウェアのアップデート後、iLOのWebインターフェースにログインし

「iLO専用ネットワークポート」-「SNTP」-「タイムゾーン」を

BIOS(RBSU)の「Date and Time」-「Time Zone」と同じ値に設定します。

(GMTはUTCに読み替えてください)

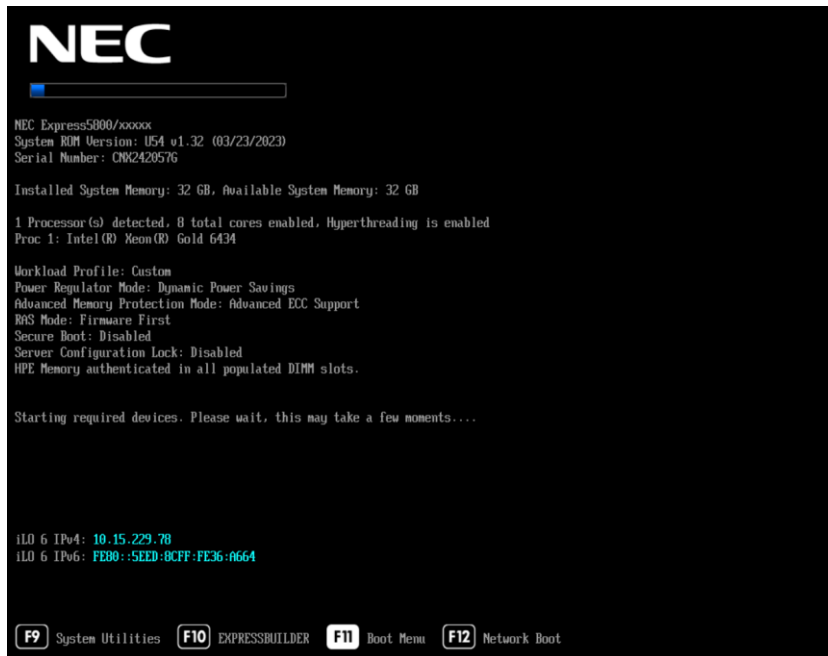
トラブルシューティング

1. Starter Pack DVDがDVDドライブから取り出せなくなった場合

アップデート後にサーバーを再起動して、Starter Pack DVDがDVDドライブから取り出せなくなった場合、以下の手順に従って取り出してください。

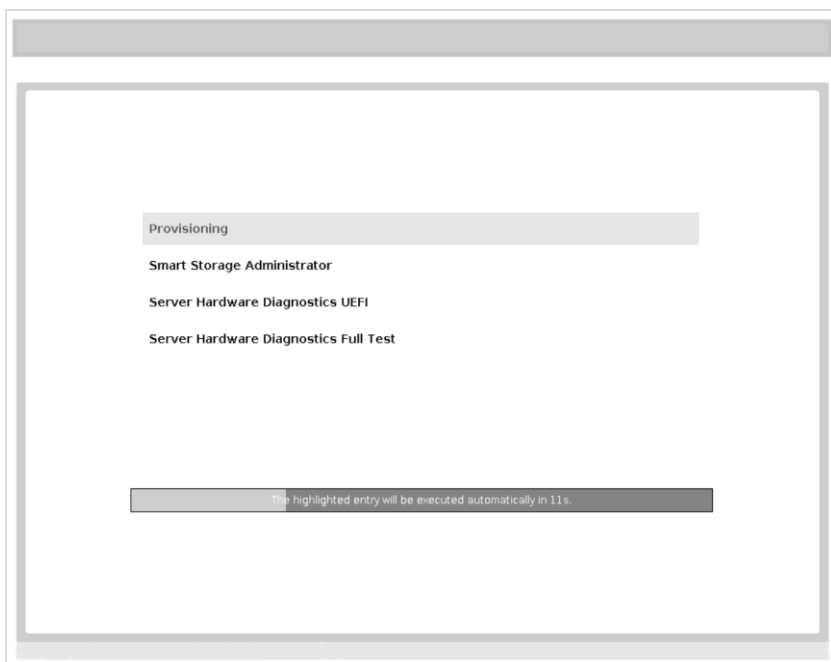
- (1) 電源をOFF、ONするか、または<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーで再起動します。

次のように、POSTが始まります。



(2) POST画面で<F10>キーを押します。

次の画面が表示されます。

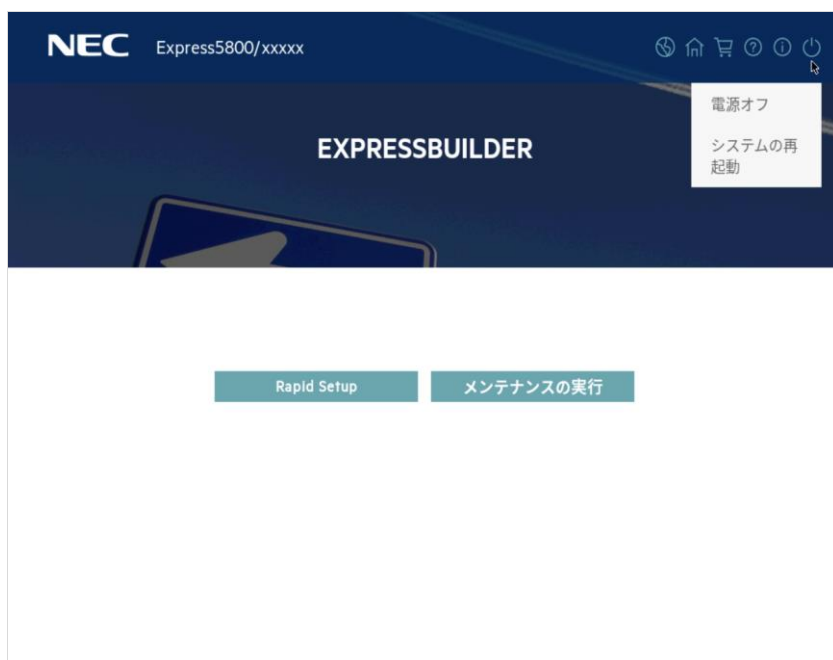


(3) メニューの「Provisioning」を選択します。何もキーを押さない場合、自動的に「Provisioning」が選択されます。

次の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。



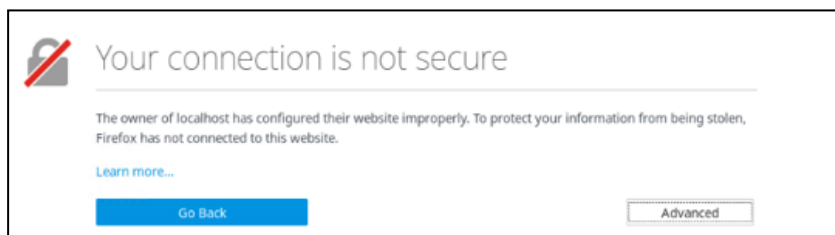
- (4) EXPRESSBUILDER起動後、DVDドライブのイジェクトボタンを押して、Starter Pack DVDを取り出します。
- (5) 右上の電源アイコンをクリックして「電源オフ」、または「システムの再起動」を選択します。



以上で作業は終了です。

2. 「Your connection is not secure」エラーが出てストップした場合

以下のエラーが起きて先に進めなくなった場合、以下の手順に従って進めてください。



- (1) 画面上の「Advanced」をクリックします。
- (2) 画面上の「Add Exception...」をクリックします。
- (3) ポップアップした「Add Security Exception」画面で、「Confirm Security Exception」をクリックします。

以上で作業は終了です。